第3号（2002年8月）

CREATE KINKI
クリエイトきんき

〔テーマ〕自然を活かす、田舎に生きる

JCCA

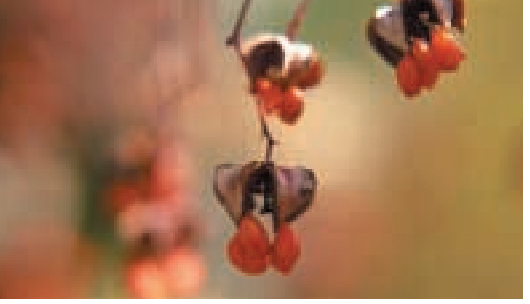
JCCA Japan Civil Engineering Consultants Association
社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部

クリエイトきんき〔第3号〕

〒540-0005
大阪市中央区上町A番12号（建設保証ビル6F）
TEL. 06(6764)5891　FAX. 06(6764)5892
http://www.kk.jcca.or.jp

発 行 日：2002年8月1日

ご意見、お問い合わせは、create@kk.jcca.or.jp まで



CONTENTS

クリエイトきんき　第3号

テーマ 1 自然を活かす、田舎に生きる

特集 2 スペシャルインタビュー「田舎・自然を楽しむ」イーデス・ハンソン氏

8 紀泉ふれあい自然塾

11 神話と水の天川村を訪ねて

14 弘望 夢木楽

地域紹介

京都 16 明治初期　京の都再生を

兵庫 17 極楽山浄土寺、現世浄土へのいざない

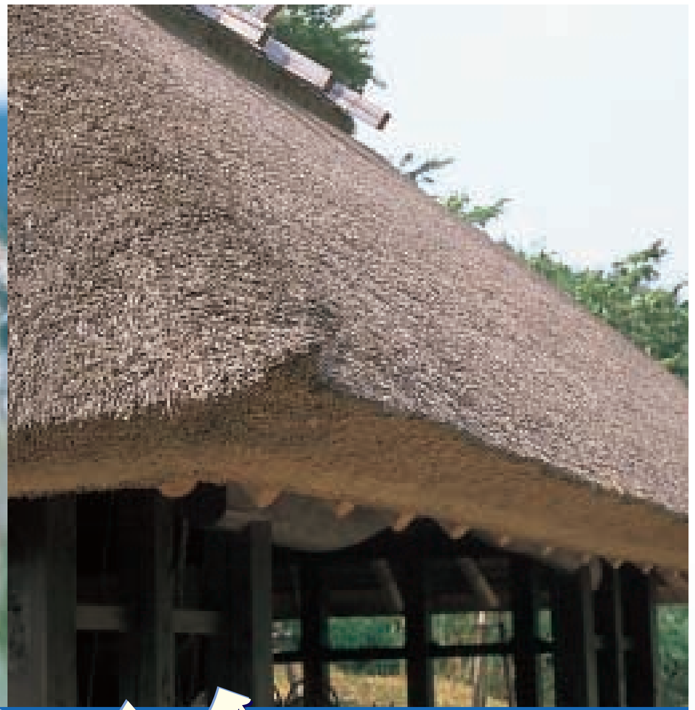
会員交流

18 映画にはまってます！

19 ちょっといいお話

その他

20 会員名簿



自然を活かす、田舎に生きる。

「癒し」ということがよく言われます。中でも田舎に出かけると、山や海を見るとほっとする、都会の人たちは口をそろえてそう言いませんか？ 日本にはまだまだ多くの自然が残されています。しかし、都会に住む人も森を水を守らなければ、これらの自然は失われてしまうのです。自然相手に仕事をすることの多いわれわれ建設コンサルタントは、大切な自然を未来に引き継ぐために有意義な提言をすることが必要ではないでしょうか。

特集

田舎 自然を楽しむ。

イーデス・ハンソンさんを訪ねて、和歌山県中辺路（なかへち）町をおとずれた。インド生まれの彼女が中辺路町にやって来て15年。地域と人との関わりについて、人びとが村で生きる、自然を生かすことについて、われわれ建設コンサルタントはどうあるべきか、ハンソンさんとともに考えたい。

面白いこと、気持ちがええこと

いつも聞かれることやけど、何でここ、中辺路に住むようになったのかとか、子供時代に過ごしたヒマラヤが忘れられなかったのか、とか。そっくり同じようなものを探して子どものころの暮らしを再現するというのは不可能やし、その必要もないと思う。ただ、子どものころ経験したことができるようなところがあればええなあと思ってた。人があまりいなくて、こういう山があるところ、そこを好きなように歩き回れる、そこのものを見る。それでどうするのかって人に聞かれるけれども、別にどうするっていうこともないし、ただそういうことが好きっていうことやね。好きで、それができるっていうことはものすごく気持ちがええし、いつでもできるところにいるっていうことは本当に安心ができて、面白さを感じる。

ここの景色はすごくええけど、景色だけ見て暮らすわけじゃないし、どういうものが面白いと思うかとか、どういうものを見てワァーと思うかというと、私は、いつでも外がいい。葉っぱとか山の音とか香りとかいろんな生きもの、楽しいもの楽しくないもの全部含めて、そういうものがその辺にうじゃうじゃいて、手の届くところにあるのがすごく気持ちがええ。東京、大阪のど真ん中にいても探せば、自然が感じられるところは意外なところにもあるんですよ。それも楽しんだことがあるけれども、量が足らんわけよ。こんな小さなこんな一角だけで喜ばなければいけない寂しさ。ここはもう量はどっぷりつかってるって感じ、遠くまで見えるやろ。

都会に住んでいると、自然を感じる心の余裕がないと言う人がいるけど、意識の問題やと思う。自然を感じるのに、何時間も見てないといかんということはないよ。その時だけ意識を持って見ればええわけやね。忙しい人でもそれを見ようと思ったら、そういう意識を持ったら見て楽しめる。興味があるかないかや。月を見るにしても、町でも見られるよ。東京で見る月は弱々しい感じがするけどね。

山を歩くとすっごくうれしい

ここに住んで、今では道のないところをずっと歩く。あの山の木の中をずうっと歩いて、尾根へ上がる日もあります。いろんな動物の道はあるし。ダニはようつくけどね。そういうところには道端で見られないような植物があるし、倒れた木の上にじいっと座っていると、いろんなモノが出てくる。鳥が見に来るし、そっと歩いていると鹿にぶつかったりする。鹿がすっごく警戒して鋭い声を出してダアーッと走って行くと、白いお尻がぽんぽんぽんと木の間を跳ねてるとかね。そういうことに出会えるからうれしいよね。そういうことができるところが良かったわけ。

ただ贅沢を言えば、山全体が自然林だといいんだけどね。それだったら感動する。特に若葉の季節、春は自然林がきれい。桜にしてもいろんな種類の桜があるし、若葉の色だけでも花に負けないくらいいろいろ、木によってそれぞれに若葉の色が違うね。植林は全然表情がないっていうんじゃないですよ。あるけれども少ない、その下に生えるものは悲しいほど限られてくるね。

田舎に住む苦労？

田舎に住むには苦労があったんやろうって、聞かれる。苦労を期待されてるみたいやね。こっちがのんきか知らんけど、苦労っていう感じはないですよ。地元の住民と同じような付合いをしたいと思ったらやはり苦労すると思う。それは不可能やね、ここで生まれ育った人たちとは歴史が違うやろ。

面白いことにね、田舎へ引っ越してくる人たちは、溶け込まなくちゃって、それが必要だっていうわけ。ほんなら東京、大阪のマンションに住んでいて、マンション中の人と溶け込んでるかっていうたら、そういう付き合いはしてないでしょ。何でこういうところへ来て、急にそれを思い出すんやろ。勝手が分からないから不安かもしれない。それだったらいろいろ教えてくれる人はいますよ。親戚付き合いみたいにならんでも。こっちが当たり前に付き合って、当たり前に挨拶交わして、分からんこと人に聞いて、教えて下さい、というたら教えてくれるよ。田舎は閉鎖的っていうけど、あんまりそうは思わんね。

過疎も捨てたもんやない

この集落の総会っていうのが年1回あるのね。うちの連れ合いは区の議員にいつのまにか選ばれてなっているわけやけど。選挙っていっても立候補するわけでもなく、候補の承諾を得るわけでもなく、農協のビラを切って、裏の無地のところに「なったらええと思う人の名前5人まで書いて」っていうて、みんな好きに「ええと思う人」書くわけ。それで回収して、読み上げて、黒板に「正」の字書いて多かった5人がなるわけやね。

例えば、どっかの水路の整備だとか、どっかが崩

イーデス・ハンソン

1939年インド生まれ。タレント。60年に来日、テレビをはじめ各メディアで活躍。世界的な人権擁護団体「アムネスティ・インターナショナル」の日本支部長を13年間つとめたのち、法人化した同団体で現在もその活動を続けている。86年に和歌山県の山村・中辺路町に転居。主な著書に『山の落書き』（WAVE出版）『南西斜面からのたより』（小学館）などがある。

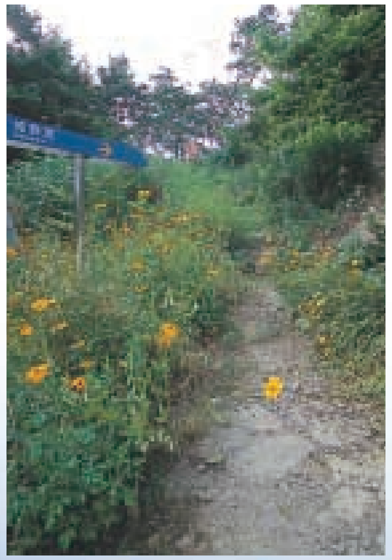
◆中辺路町◆

中辺路町は紀伊半島南部に位置し、果無山脈から流れ出る富田川、日置川の流域に拡がる緑豊かな町です。東西21km、南北12km、面積211.95m^2、人口は約4000人。町の名は熊野古道の「中辺路街道」に由来しており、熊野へのメインルートである紀伊路は行き帰りとも中辺路を通っています。熊野信仰に関係する多くの名所旧跡や伝説が残された自然林の古道を歩いて、歴史のロマンに触れてみませんか。また、中辺路町では特別町民を募集しています。会費を払うと、年3回特産品の味噌、草もち、新米、ゆず、しめ縄、酢づけ大根、乾燥しいたけ、梅酒などが送られるほか、町内の宿泊施設の割引もあるそうです。

れそうになってるから工事せないかんとか、いろいろ役場に陳情して、金出して道直してもらうんやとか、結構いろんなことを総会で話し合ってる。少人数やから集まるお金は少ないけど、小回りが利く。

また、何年か前から連れ合いがここの民生委員にもなったわけ。民生委員の会議に出て、さまざまな家の事情がよく分かるし、判断できる。あの家は何を必要としているかとか、どの部分がしんどいのかとか。この地区の区費はその家々の状態、年金生活しているのか、何人働いているのか、病人抱えているのかで金額が違うんですよ。きちっと細かく状態に合わせて上げ下げしてる。

過疎地やと人はそれを悪く言うけど、子供たちにはいいと思う。混んでなくて、先生と生徒の比率はものすごくいいんですよ。子どもたちの名前だけじゃなくて家のことも知ってるし、その子に合ったような付合い方ができる。田舎だから素朴で、問題はないだろうっていうけど、そんな事はない。群がるコンビニはないけど、みんな同じテレビ見てるし、同じ音楽聞いてるし、同じファッションしようとしているし、いじめ問題っていうのも少しあったり、



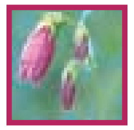
登校拒否の子もいた。私が下の中学校と関わった年に、登校拒否の子がいて、親が毎朝一応学校に連れてくる。先生がその車まで迎えに行って、「今日はどう？」って聞いて、学校へ入ってくる日もあれば、「あかんわ」いうて、「ほな、また明日ね」っていうて対応してくれる。そういうことができるってものすごくええと思った。

病気になっても心配いらんよ。救急病院は田辺まででいかんでも途中にあるんですよ。それで間に合わなかったら国立病院まではそこから20分くらい。紀南病院も近くに新しくできるしね。よっぽどの場合はヘリで、和歌山医大へいけるし、捨てたもんやないよ。町は救急車のスピードは速いかもしれないけど、たらい回しにされたり、道が混んでいたりして、死んでしまうかも。この辺でそんなの聞いたことないな。この道は、どえらいスピードは出せないかもしれないけど混んでない。救急病院でなくてもいい医者はこの下の役場の近くにいますよ。

市町村合併の後は心配

今後予想される少子・高齢化に一村一町では対応できなくなるということで、市町村合併がすすめられているけど、心配やね。教育・福祉などのサービスは低下させないというけれど、本当やろうか。行政っていうのは、サービス業のはずやね。ところが日本政府を初めとしてその意識が全然ない。大きなところに一つにまとまってしまったら、ますますその意識も固まってしまうと思うんですよ。例えば、合併したら市長になかなか会えない、住民だけど会えない。ここだったら、忙しくても頼んだら何らかの形で会って話ができますよ。最初引っ越してきたとき、下の「Aコープ」に買い物に行ったらね、町長がサンダル履きで歩いてくるやんか、そこで気軽に立ち話ができる。

今いわれている田辺市を中心とした10市町村の合併では大きくなりすぎると思うね。この地域の議員も民生委員も減るって聞いてるし、町内で気になる何かがあっても今後は勝手が違うわけやね。役場で働く人もすぐには減らさないといってるけれども、結局職員の雇用は減るわけでしょ？



村おこしは地域と専門家の協力で

ここには豊かな自然があるし、地域社会も本来有るべき姿に近いものとして残ってるし、生活するには十分ですよ。でも、若い人は冒険を求めて、あるいは仕事を求めて町へ行ってしまう。都会から移ってくる人も少しはいるけど、やはり住民は減っていくし、周りの環境も少しずつ変化している。田んぼもずいぶん減った。もちろん若い人たちはお盆や正月に小さい子どもを連れて帰ってくるよ。その時には車の数がすごく増えるんですよ。大阪ナンバーとかね。村おこしっていうか、すでに白浜に大学の研究施設とかあるけど、何か違った研究施設などをここらに誘致したりするのはいいかなあと思う。

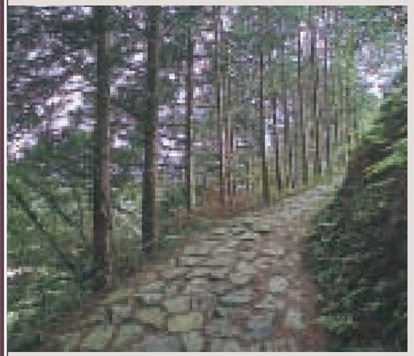
昨日もね、イヌと一緒に歩いてたら、道端で誰かが大便をしてるわけ。こんなところで、むき出しにしゃがんで、人が歩いてきたらどないするねんな、というようなところで。多分、脇へ入ってするのが恐いんやろ。そのまま紙も捨てたままでね。足元をちゃんと見てたら恐いことないよ。ヘビが出てきても逃がす間を置いてやったらあっちの方で逃げるのに…。近くに枝が落ちてたし、それで掘って埋めて片づけたけどね。山に憧れて、古道にきた人やと思うけど、そんなことも知らんのね。

元々いる人たちと一緒にやれる部分てあると思うんですよ。ここに住んでいて、長年田んぼ作っていて、山の仕事していて全部分かっているつもりでいる人もいるんですよ。だけど案外違うところがある。ちゃんと調べたら違うところもあったりする。専門家がその辺の違うところは分かっているけど、さあ、山歩くのに、自分の身を守るのにはどうしたらいいかっていうことの知識経験が足らん。専門的知識と経験から来る知識、その両方は一緒に何とかできたらより大きい値打ちのあるものができると思うし、何も知らん人たちの橋渡しにもなると思う。

何が必要でないかを考えること

日本中に、ここのような環境があるわけ。つぶしたら二度と戻らない。これは財産よ。絶対に作れない。川づくりとか○○づくりとかいうけれども、つくらんでも川は川やがな。いじり倒して、生態系を“わや”にして、公園にして、誰もいてへんということになってませんか。

本当に危ないっていうことがあったらその危険性を和らげる工夫を少しずつする。ここのような山間部には土砂崩れとかはありますからね。そういうのはきちんとしないといけない。でも、ものすごいええ道できて、車全然走ってない。道が欲しいんやない、工事が欲しいいっていうことが多いですね。山主もほったらかしているような山に立派な林道作ったりする。山の仕事が本当になくなってきているわけだから、その人たちの仕事を見つけないかん。山の



◆熊野古道◆

本宮・那智・新宮のいわゆる熊野三山へ入る信仰のために利用された道。険しい山や滝を崇拝する自然信仰に仏教が結びついて熊野修験道となり、しだいに熊野を現世極楽とする熊野信仰が生まれた。江戸時代には「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど多くの人々が熊野をめざした。

◆王子社◆

平安時代に既成宗教に飽き足らなくなった皇族・貴族たちが厳しい山岳信仰に救いを求め、上皇らは何百人もの供を連れて都から熊野をめざした。熊野参詣のメインルートの紀伊路には熊野の神の分社である熊野九十九社が祀られ、休憩所として、また道しるべとして利用された。

仕事のできる人たちってこれからずっと必要やと思うんですね。ただ、どういう仕事をどういう風に見つけようとするかで工夫が足らんと思う。

例えば、住宅地を作る時の作り方。あれは私には分からんね。「緑豊かな住宅地」を作るために、山切り開いて、ザァーっとならしてしまう。そこにあった木も全部、面白いでこぼこもぜーんぶなくして、線引いて、家「植えて」、また木植える。そこにあった何十年もの木、これ財産ですよ。この木の下に家作れたら、この土地は、この一角はすごい値打ちやっていう感覚はないんやね。そんな木は人間が即席で作れないの、あんなの一本あったら夏のクーラーの電気代も違うのにね。

でも、一切整備をしないでこのままほっといてくれっていうんじゃないよ。もうちょっと丁寧に、何が必要で何が必要でないか、必要でないことも考えないといけないと思う。そのためには、ありのままのどこをどの程度いじったらいいかという見極めの技術が必要なわけよね。コンクリートで固めるのに技術いらん。コンクリートを作る技術だけ。そうじゃなくて、壊さないで守る、危険性を無くす、それにはすごい技術がいる。人間てそういう力を持ってるわけよ。

ブルドーザー感覚はやめて

古道そのものの整備でもね、いらん草刈りはせんといて欲しい。人の歩くところは十分あるのに、年1回か2回全部刈ってしまう。そこに出てる面白い植物を、「フタリシズカ」までも刈ってしまってる。立派な「テンナンショウ」も種を作る前に刈ってしもうて…。「マムシグサ」やら「キンラン」やら毎日そこを歩いているから知ってるわけね。それがみんな刈られてる。惜しいよ、哀しいよ。地元の人にもその辺の意識を持って欲しいと思う。刈るとき教えてくれたら、喜んで一緒に歩く。刈る人も「刈ってこい」といわれてするんやから、誰かそこをいつも見ている人が一緒に歩いたらええと思う。かといって、めずらしい植物に看板なんて立てたら、都会の人が持っていくしね。草刈り一つでも、そこの環境を大切にしようとしたら面倒くさいよ。どうしてもブルドーザー使わなきゃいけない時もあるんだけど、ブルドーザーはあくまでも道具、使う人には繊細な感覚を持って欲しいやんか！

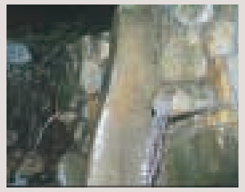
地球に何かを還そう

人間は自分の意識を変えることができるわけやね。子どものころ、大学行ったころ、就職した、結婚した、それぞれで自分の意識ってがらっと変わってませんか。人間て、いろいろ経験して、自分の意識を変えることができる。そういう能力を生かしてへんね。これが金がかからんし、これが一番手っ取り早いからこれでいくねんと、乱暴にいろんなものを壊していく。そうやなしに、もっと工夫する、自分の中で意識を持つ、それが大事じゃないのかな。人の仕事をどうやって作るかとか、生活に必要なものをどうやって整備するか、どうやって山との折り合いをつけるのか、むずかしいよ。簡単にこうすればいいんだって言えない。でも全く不可能っていうことはないと思う。

人間てね、自然から取るばっかりしてるわけ。食べものにしても、家の材料にしても、土にしても水にしても。だから還すって事を考えなければいけない。コンサルタントの仕事をする若い人たちは取りながら還す形も考えないとね。地球って大きいから無限にあるように思うんだけど、そんなことないよね。自分の生活は、地球のおかげでできているわけだから、何か自分のすることとか、何かを守るとか、育てるとか保護するとか、そういうようなことで自然に何かを還す、それが仕事の一部分として組み込まれていると全然違うと思う。こっちは取るばっかりで、誰かが還すやろうっていうんやない。取る人が還す。水源地にきちっと木を植えて、雑木を増やすとかね。

◆野中の清水◆

名水百選に選ばれているその水の量のとうとうとしていること、冷たいこと。都会から水を汲みに来る人が絶えない。地元の人々の生活用水でもある。



◆高原熊野神社◆

中辺路の役場を見晴らす高原にある、古道に残る最も古い神社。樹齢千年を超える楠の大木が境内に茂り、極彩色の絵を施した社殿は平安時代の創建という。

イーデス・ハンソン氏を訪ねるにあたり、彼女の著書を読んだり、雑誌の記事を読んだり、HPも探して勉強した。人権問題・環境問題についても造詣が深いばかりか、実践家でもある彼女にお会いするのは楽しみでもあったし、緊張もした。

お会いしてみると、その関西弁のままのゆったりとした柔らかい人柄を感じた。ユーモアの中に信念が感じられる話し方、「意識する」という言葉が印象的だった。今後のコンサルタント業務の中で私たち一人一人が「どう意識していくのか」が問われているのだと改めて考えさせられた。

農村と都市を結ぶ グリーン・ツーリズム

グリーン・ツーリズムとは、あるがままの自然の中で、農家などその地域に居住している人たちの手により、都市住民と農村住民との交流を生かしながら、地域社会の活力に貢献することである。イギリスをはじめドイツやイタリアなどヨーロッパで始まった。ヨーロッパの農村に詳しい㈱グリーンラインツアーズ代表取締役、長谷川善也氏（大阪府高槻市在住）にお話をうかがった。

開口一番、ヨーロッパから関空に降り立って、高速道路を通って大阪市内へ向かうとガク然としますね。緑がない、見えるのはコンクリートばかり。何度経験してもあまりのギャップに声も出ません。ヨーロッパのグリーン・ツーリズムは自然体です。伝統的な農村や山林などが中心で、手が入っていない自然の中に滞在し、散策することが基本です。

イギリスの農村の美しさは格別です。農村の静けさや美しさ、野外でのスポーツは、都市労働者にとって憧れです。テニスや乗馬は無料でできます。土地利用については厳しい規制がかけられています。庭の木一本切るにも許可が必要です。電柱は地中化され、看板はありません。交通標識までも表示が工夫され、景観を損なわないようにしています。我々が先日宿泊したホテルも、ちょっと見ただけではホテルには見えません。看板も小さく、外観は300年前の建物のままです。自然とともに過ごすことを最上と考える英国人はかつての景観をそのまま慈しみ育ててきているのです。

日本とヨーロッパのギャップにいつも悩みます。日本は狭いといいますが、ヨーロッパの国の半数くらいは日本より狭いではありませんか？日本は島国だからといいますが、だからこそ海に囲まれて自然が豊かだと思うのです。それなのにどうして、こんなにゆとりがないのだろうかと、自然と共存して生きていくということが日本ではなぜこんなにも難しいのかと、考えてしまいます。

ぜひ多くの皆さん、ヨーロッパのcountrysideへ行って、見て、ふれて、体験してください。心と体のリフッシュにグリーン・ツーリズムがいかに有効か体得できるはずです。ストレスに囲まれた生活から自らを解放してあげましょう。行政や学校の先生方にぜひ行ってもらいたいですね。そこから日本のグリーン・ツーリズムが始まるのではないでしょうか。

幼い頃から自然とふれあうこと、日本では残念ながら意識的に自然の中に連れ出さなければならないケースが多いでしょうが、ぜひゆとり教育の中で環境教育に力をいれて欲しいですね。親達はまずゴミの問題から子供にしつけて欲しい。親の意識改革からですね。今後の環境教育に期待したいものです。

※農林水産省は、1995年「農漁村滞在型余暇活動促進法」を制定し、農村滞在型のリゾートとしてのグリーン・ツーリズムの考え方を取り入れている。日本でのグリーン・ツーリズムは少しずつではあるが、全国でその取り組みが始められている。

紀泉ふれあい自然塾

里山は農とふれあいパラダイス

週末ともなると都心部からどんどん人が集まってくる。
畑を開墾し、雑草を刈り、田植えに向けて田起こしをするボランティアの学生や若者たち。
近くのお百姓さんから頂いたという古い農機具の整備にも余念がない。
実はこの地域、ダム建設のため集落が姿を消し、約40年もの間、人の通わぬ荒地だった。
ここに「紀泉ふれあい自然塾」、つまり、「自然と人との共生」を
体感するフィールドが今まさに甦りつつある。

1 子どもも大人も自然から学べ

盛りだくさんなふれあいメニュー

① 里山体験

草刈・間伐・炭焼き、五右衛門風呂で癒したあとは、囲炉裏を囲んで語らおう!

② 生活体験

太陽熱・沢の水、自然に抱かれてのキャンプ体験。いろりやかまどの昔体験もいいものだ。

③ 手づくり体験

竹細工、草木染め、山菜料理に挑戦しよう!お土産だって　Do it yourself!

④ 生産体験

耕耘、植付け、収穫まで。自然の恵みたっぷりの芋掘り・稲刈り、農業体験。

⑤ 自然観察体験

ホタルが飛び交う里山はすべてがビオトープ!オケラだってアメンボだってみんな友だちさ。

来春本格オープンに向け意欲を燃やす「大阪府泉州農とみどりの総合事務所」緑地整備課　土屋課長

この里山を活かすには、ソフトが切り札です。ただ今、四季を通じた"環境学習プログラム"を検討中です。里山レストランにも期待してください。見学者・体験者歓迎! 私がご案内します。

2 谷ごと里山に甦れ!

ダム湖に沿って、木もれ日のシャワーを浴びながら林道を歩くこと10数分、景色がパーッと開けたと思うとそこには、大きな屋根の民家が小さな谷に並んでいる。昔の里山って、こんな感じかなあと思うような空間が広がる。大阪府は、金剛生駒紀泉国定公園内、泉南市堀河(ほりご)地区に「紀泉ふれあい自然塾」を整備している。総事業費は19億円、広さ約4ヘクタール。事業目的は「里山の循環型生活体験を通じて、現在の生活を見直すことのできる視点を養い、循環型社会の構築と自然との共生に向けて自発的な行動へとつながる環境教育を行う。組織や地域で環境教育のリーダーとなる人材の育成を行う。」である。現在は、五右衛門風呂や囲炉裏などを備えたかやぶき風屋根の宿泊棟6棟が完成、キャンプ場や炭焼き体験ができるかまども整備される予定。

大規模な土地の改変はせず、昔ながらの里山集落をイメージして作られたこれらの施設は、循環型施設としての工夫も施されている。「環境教育する施設が、環境汚染の元になるようではいけないと思っています。」とは、土屋慶輔課長の言。

3 水の循環型施設と自然への負荷の軽減にこだわる

伏流する谷川の水をパイプで引いて、洗い物などに使います。上水は特設水道で、川から取っています。その後は浄化して一部は再度ポンプアップしてトイレの流し水に使い、余剰水はずっと下流まで持っていって放流しています。大体5ppmを上回らないで放流することになっています。ここは渇水のおそれもありますので、上水が確保できれば下水も確保できるように考えました。その他、太陽エネルギーや薪炭材などを利用しますし、そもそも構造物自身が省エネです。昨夏の猛暑のときでも、この建物内部での気温は大阪市内の気温と6℃違いました。もちろんクーラーはありません。少し我慢してもらおうということです。

4 環境教育をビジネスへ、楽しめるソフトの提供を！

これからは環境教育がビジネスにならないといけないと思います。環境商品だけではなく、環境教育ソフトが今必要とされていると思うので、ぜひここを利用していただきたい。現実の生活を体験しないと環境教育にはつながらないと思うので、ここで実践していただきたいと思います。

事業目的が達成されるということは、収支が合うということでは必ずしもないわけですが、やはり収支を考えざるを得ないと思います。ここには食堂と宿泊施設があります。地場の旬の食材を提供することで、魅力的な運営ができるのではないかと思います。穴子やわたりがに、フキや水なすなどがありますから。

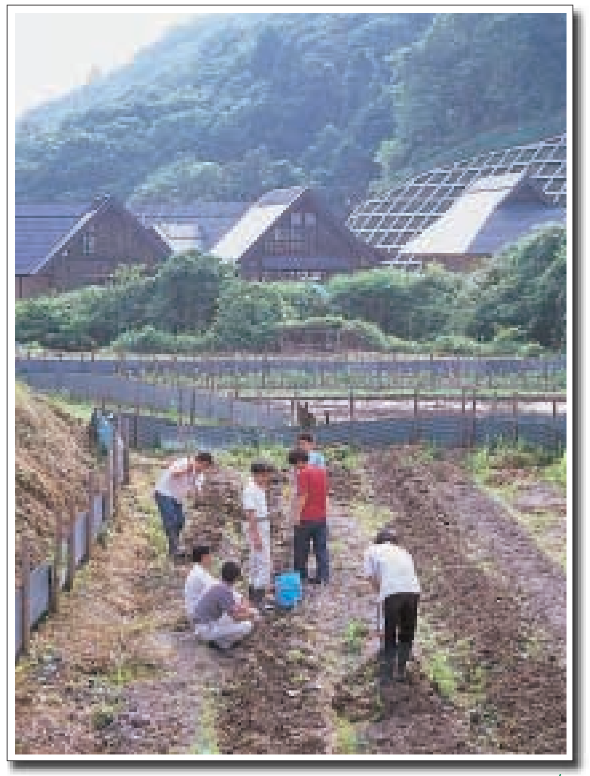
運営については、現在プロポーザルに数社の応募があります。収支構造についてシビアな民間の知恵をお借りしないといけないと考えています。集客については、いかに上質なソフトを提供するかで、それについても民間の力に期待しています。これからは、事業目的と、収支構造、数値目標を明確にしていくことが大事だと思います。

5 人材の育成こそ次世代へつなぐキーポイント

植物や野鳥の観察はもちろんできますが、名前を覚えたりする学習というより、生活に密着した体験を中心に考えています。芋掘り、稲刈りなどの農作業体験ができる水田や畑もあります。農業の教育力にも期待しています。

これまでの4年間、多くのボランティアの協力で田畑も随分整備されました。ボランティアや各種NPOの協力は欠かせません。ここでの活動を通じて、自然との共生に向けて行動できる人材が必ず育ってくれると思います。それが大阪府の活性化にもつながると考えています。

土屋課長に教えてもらったと、女学生がニッケの葉をしがんでいた。ボランティアの学生が、観光バスで来ていた大阪市立大学の学生を案内していた。これらの若者の中から地域のリーダーがきっと育っていくにちがいない。



アクセス
阪和自動車道　泉南インターを下り、泉佐野岩出線を堀河ダムまで車で10分

紀泉ふれあい自然塾ホームページ
http://www2.odn.ne.jp/afn-sensyu/kisenpage/sizenjuk.htm
Eメール　afn-sensyu@par.odn.ne.jp

問い合わせ先
大阪府泉州農と緑の総合事務所　緑地整備課
〒569-0076　岸和田市野田町3丁目13－2
TEL 0724-38-1296
FAX 0724-38-2069

神話と水の天川村を訪ねて

奈良県吉野郡の中央部に位置し、古来から山岳信仰と名水などで知られる天川村を訪ねた。私自身、天川村の名前は聞き知っていたが、実際に訪れるのは今回が初めてである。

旅人：今村克己（編集委員）

天川村へ

天川村へは、安易にクルマではなく、公共交通を利用して入っていった。

まず、大阪阿部野橋から近鉄特急吉野行きに乗り込み、1時間ほどで天川村への入口である下市口に到着する。昼間は特急列車に接続するバスが約1時間おきに天川村に向かって発車している。意外にも2時間少しで大阪からアクセスできるのである。案外便利かも知れない。

バスは、平日ということもあり、地元の人（お爺ちゃん、お婆ちゃんたち）が数人乗っているだけであった。少しお爺ちゃんと話をしたが、「天川村の入り口である国道309号に、最近新しいトンネルができて非常に便利になったこと（それまでは下市口まで1時間半くらい要したらしい）」、「山の食糧事情が悪くなり、猿や猪、鹿などが畑を荒らして困ること」、「村を流れる天の川の水量が減ったこと」、「観光客など外部からの人が増えて、家に鍵をかけるようになったこと」などを聞かされた。

川合交差点

バスは、天川村の中心部である川合に停車し、私も役場を訪れるため下車した。知り合ったお爺ちゃんもここでバスを降りて、役場の入口まで案内をしてくれた。とても親切な人が多いみたいである。

バス停近くの川合交差点が、天川村唯一の信号交差点である。車も少なく、景色を見ると道沿いに天の川が流れ、周囲は緑に包まれた山々であり、空気もよく、なかなか良い気分である。

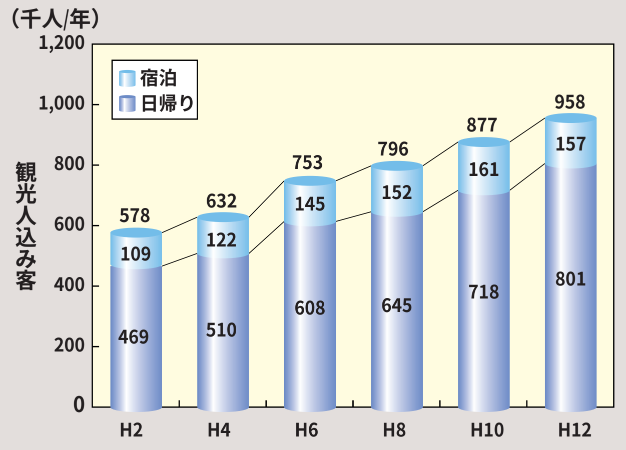
天川村役場にて

天川村役場は川合バス停から歩いて約5分程度のところにある。あらかじめ連絡しておいた企画財政課の辻さんにいろいろ村のことを教えていただいた。

企画財政課　辻さんのお話（一部、産業観光課の豕瀬さんのお話を含む）

天川村は、これまでは林業が主要な産業であったが、需要の低下、外材の影響などで価格が5分の1程度まで下落し、産業として成立しなくなった。今後の産業としては、恵まれた自然を活用した観光が軸となるのは否定できない。

特に、冬を除きオールシーズン観光資源に恵まれており、観光客は年々増加している。ただし、道路の整備が進み、車の利便性が増したため、宿泊客は横ばいで、日帰りや通過型が増え、必ずしも収入の面では順調だとはいいがたい。



観光人込み客の推移（資料：天川村）

今後は、自然をイジッたり、箱モノを作るのではなく、自然と付き合う中で楽しみを見つけたりしながら天川で過ごす方策を考えて、観光の中に取り込んでいきたい。

それには、村民にまず理解してもらうことが肝心なので、村営のエコミュージアムセンターの事業として村民による自然観察事業から取り組んでいきたいと思っている。そこから出発して、村を訪れる人と村民ボランティアが仲良く自然観察をするようになればと思っている。

いずれにしろ、モノを作るのではなくソフトの面で今の自然や歴史的遺産を活用して村の活性化を図りたい。

また、大峰山を中心に吉野から天川、熊野にかけての地域は、平成16年に世界遺産に登録される予定である。

外部との提携などによる活性化は具体的にはないが、機会をみてはテレビをはじめとするマスコミに取り上げてもらうようにしている。なお、枚方市とは「天の川」の名前が縁で提携を結んで住民相互の交流を行っている。

天川村役場

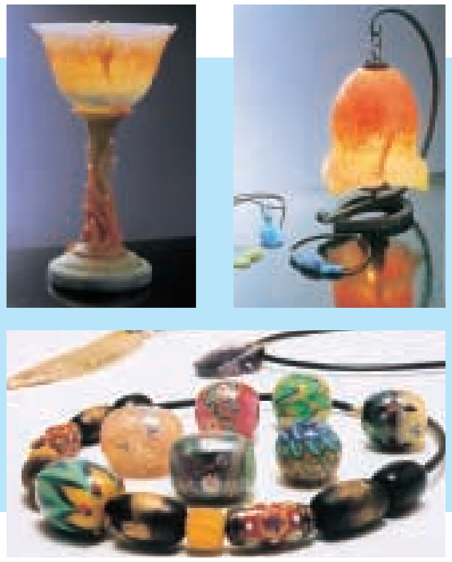
村民・永井さんのお話

仙台から13年前に天川村に移住し、ガラス工芸を仕事として生活している永井さんのお宅を訪れ、お話をうかがった。奥さんとお二人の暮らしである。

天川村の風景、人々が気に入っていること、大阪まで2時間の距離で、仕事で個展等を行うにも便利であることなどを、天川村を選んで住んでいる理由としてあげてくれた。穏やかな語り口ではあったが、生活していく上では、「村の行事」や風習などに溶け込むこと、お金で物事を解決しようとしないことなどが、田舎暮らしの条件であることを語ってくれた。

永井さん夫婦（工房の玄関で）

永井さんの作品



村民・松本さんのお話

永井さんの紹介で、近くに住む松本さんのお宅を訪ねた。

早速、犬の“そら（メス9才）”の歓迎を受けた。松本さんは東京・杉並に住んでいたが、10年前に娘さんから紹介された天川村の民宿を訪れ、その主人に紹介されたのが今のお宅で、すっかり気に入り即決で天川村に終の棲家を決めたそうである。

松本さんはデザイナーで、東京にいた時はデザイン事務所を経営されていた方である。その前は、化粧品メーカーのパッケージデザイン、大学の講師などをされていた。

永井さんといい、田舎暮らしは自分でモノを作る人が好むようである。

田舎暮らしの秘訣は、楽しく物事に取り組むこと、周りの人たちと上手く付き合うことなどを挙げてくれた。特に葬式は重要な行事で、丸2日はかかるとのことであるが、これを通して村のしきたりや村人とのコミュニケーションを図ることが大切であるとのこと。

松本さん

最近、興味を持って実行しているのが、廃材などを利用したお店や宿、散髪屋などの看板のデザインで、なかなか面白いものが村内のあちこちにみられた。

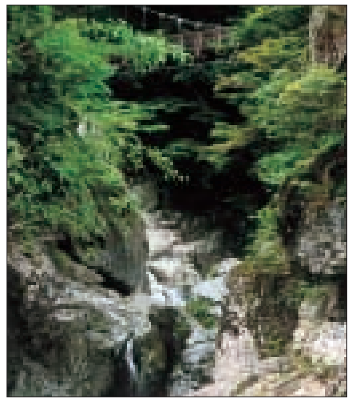
天川村のご案内

天川村は、大きく中央地区、西部地区、洞川地区の3地区に分かれており、中央地区は役場や官公署などが立地する村の中心地区である。また、天河大弁財天社は芸能の神様として、玄翁人を初め多くの参拝者が見られる。境内には能舞台が設えてあり、年数回の狂言、能などの奉納が催される。

西部地区には栃尾観音堂があり、そこに円空仏が納められている。以前は近隣の子どもたちの遊び道具となっていたともいわれている。

中央地区から洞川地区に向かい、天の川沿いに「みたらい渓谷」が、清流と夏の緑で絶景を形成している。

渓谷沿いには遊歩道が整備され、また、以前のつり橋をモチーフとした橋も自然の中に溶け込み、なかなかの景色である。



みたらい渓谷

また、清流には、今解禁の鮎やアマゴ、イワナなど、釣り好きには堪えられない所でもあるようだ。

天河大弁財天

栃尾観音堂

洞川地区は、大峯山への登山、修行の入口であり、「精進落とし」のための旅館街も立地している。なお現在は普通の旅館街であるとのこと。

また、ここでは、日本百名水のひとつである「ごろごろ水」として知られる湧水があり、これを汲みに天川村を訪れる者も多い。

最後になりましたが、ご多忙の中、時間を割いて対応していただいた天川村役場の辻さん、豕瀬さん、ガラス工芸家の永井さん、デザイナーの松本さん、村中を案内していただいた天川タクシーの桝井さんに謝意を表します。

本当にありがとうございました。紅葉の季節にでもまた伺おうと思っています。

ごろごろ水

YUMEKIRAKU

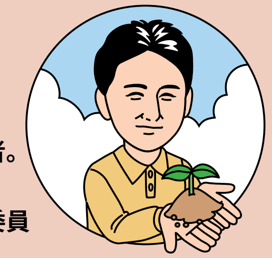
弘望 夢木楽

中辺路町の国道筋から富田川を渡って少し山を上ったところに建築中のログハウスを見つけた。われわれ“追っかけ隊”は、そこで“夢追い人”の倉尾さんに出会った。独特の和歌山弁でその大きな夢を語ってくれた。

夢追い人
40年勤めた役場をこの3月に辞めたんよ。“物づくり”がしたくてな。
その手始めがこのログハウスよ。まあ、入ってよ。

主宰者
倉尾弘大

追っかけ隊員 1号
第一線で活躍する（？）建設コンサルタント会社営業マン。知る人ぞ知るヘラブナ釣り師。趣味は、ベランダガーデニング。
山澤編集委員長



追っかけ隊員 2号
建設コンサルタント会社の若手技術者。
環境問題にはちょっとうるさい。
井上編集委員

人生のチャンネルを切りかえる

山澤　うわあ、立派なログですね。第二の人生を今まさに始めようというわけですね。

倉尾　40年役場におって、わしは行政のプロとして誇りを持っとったよ。しかし、人生には限りがあるやないか。公務員と違ったこと、物づくりがしたかった。55歳で人生観を、人生のチャンネルを切り替えたわけや。

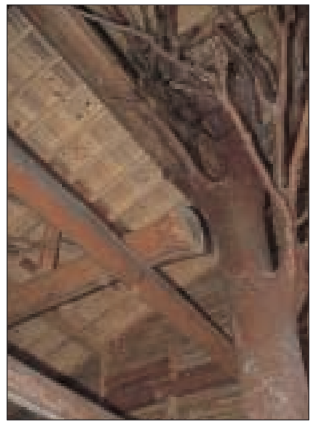
井上　仕事を辞められて、時間を持て余すことはないですか？

倉尾　ないな。昔の仲間が電話してくるんよ。「ヒマで困っとるんやないか」と。そんなときは「ありがたいけどのお、わしゃ、おまえとしゃべってる時間はないわ、忙しい」と早々に切ってしまう。ほんまに忙しいんやから。目的があるから楽しいのよ。

木に合わせて家づくり

井上　あの柱は随分大きいですね。

倉尾　最初はこんなに大きな家にしようとは思ってなかったんや。山にある木をいつか使おうと思ってね。山へ行くたびに見守ってきた木を柱の木として切ってみたら、思わぬほど大きかったんや。それに家を合わせたらこんなに大きくなってしまった。裏の山にツリーハウスも造ってみようかと思ってるんや。ちょうどええ木があるでな。



井上　木に合わせたなんて、豪快な話ですね。そうすると、これまでには色々変更もあったんですか？

倉尾　あるある、何にも決まってないんやから。内装なんか一つ一つ考えながらやな。壁をどうするか、クロスは張りたくないから、和紙の壁にしたり、入り口の土間の壁には地元の山の自然石を貼ってもらってる。大阪からデザイナーの人が手伝いにやってきて、半日ほどで20枚くらい貼っていってくれたよ。土間自体は、コンクリにはもちろんしたくないけど、土のままでも始末が悪いから、石を置こうか、どうしようか考え中。他にも照明はどうするんやとか、考えることばっかりや。この木も3つの節が面白いやろ。それでこれを使ってみたいんやが、どこに立てるか迷っているところや。何かええアイディアあったら聞かせてよ。

山澤　地元にこだわって、自然の中で自然を生かした家づくりをされているんですね。自然の持つ不思議な造形美とか優しさとかを感じますよね。

夢はええよ

山澤　退職したら、田舎に住むのがわたしの夢なんですが。

倉尾　住んだらええがな。夢はええよ。夢見るのはタダやし、夢には税金もかからん。わしの夢は、陶芸、炭焼き、染色、野菜づくり、とにかく物を作りたい。それの第一歩がこのログハウスやね。都会の人が田舎に住みたいとか、物づくりをしたいというならここに来て体験してもらえばええ。田舎には畑作り、田んぼ作りのプロはたくさんおるでよお。夢を実現する手伝いができりゃあ最高やで。家族で、グループでここに泊って、かまどで飯炊いて、囲炉裏囲んで、焼酎を甕（かめ）から飲んで、夢語って、そういうような人がたくさん集まってきたらいい。「人生いろいろ、人それぞれ」でも「夢をもって生きよう」よ。

軸組はプロの大工さんに頼み、大きな柱や石はクレーンで運んでもらったという。あとは全部自分で、木を切り、運び、石を拾い、積み上げて作ったそうだ。作っているうちにどんどん夢は広がった。部屋には囲炉裏が切ってあり、窓には障子をはめて、墨絵を書いてライトアップしたら浮き出てこないだろうかとか、囲炉裏に似合う酒は何かとか、とうとう裏には露天風呂やかまどまで作ってしまった。切ってきた自然木は不揃いで、壁に張るにも一苦労、ベランダの枕木の面をそろえるのも大変、それがまた楽しい、と目を細める。

都市と農村の交流

井上　僕はまだ、田舎に住みたいという気持ちにはなれないですね。コンサルとしての仕事もまだまだやし、都会生活ももっとエンジョイしたいし。

倉尾　それはそれでええがな。コンサルタントとして頑張ってよ！コンサルタントも大学の先生らも、その地域を知らんといかんよ。田舎の人でも案外知らないことがいっぱいあるけど、都会の人は田舎のことはもっと知らんわけやから、まず知ることやね。ここへやってきて、交流して、お互いの知識や知恵を交換したりする。それが町おこし、町づくりにつながる。自分たちの飲み水が、どうやって確保されているのか、きれいな水をどう守るのか、いっしょに考えられるようにきっとなると思う。大学の先生や、コンサルタントの人もある地域に関わるときには、その地域にせめて3、4日は住んでみるといいと思うね。

山澤　自分がその地域に住んでいると思って仕事に取り組んでみたら、違ったものが見えるのかもしれませんね。

倉尾　完成したら、ぜひ又来てよ。

山澤・井上　ありがとうございました。必ず寄せていただきます。

日々の仕事に追われていても心に大きな夢を抱いている人はいる。そんな人を訪ねて、元気を分けてもらおうと、われわれの追っかけは続く。

求む！「夢追い人」
われわれ追っかけ隊は、あなたの身近にいる、「夢追い人」「夢多き人」「趣味人」を募集しています。ストレスだらけの日常にさわやかな風を吹き込んでくれる人を紹介してください。自薦・他薦は問いません。そのエネルギーを分けてもらいに追っかけて行きます。

水遊びをする子どもたち

手作りのテーブルとイス

囲炉裏の自在カギ

手作りの露天風呂

明治初期 京の都再生を

内外エンジニアリング（株）
顧問　中西　達

京都は、1994年に平安遷都1200年を迎えた。京都国際会議場では“環境サミット”が開催され、遷都1200年の記念すべき節目に、京都の玄関にあたる京都駅舎が誕生、改札口を出て見上げると、トラス状の大空間が広がり、旅人、観光客の心が癒される。

京の都は、3方向が山に囲まれ、京都盆地を舞台に街の歴史は展開してきた。歴史を振り返れば、元治元年（1864年）幕末期に内戦が起き、その時長州藩邸で起こった火災により町並みは壊滅的な状態になったといわれている。

明治2年（1869年）東京への遷都で、京都は千年にわたる都としての地位を失った。有力な町人も東京へ移るものが多く、遷都によって京都の中心は空洞化、人口は激減し、236,000人と往時の半分になってしまった。

明治14年（1881年）2月、北垣国道知事が就任し、衰退した都の再生を図るため、水の確保と物資の運搬を目的とする琵琶湖疏水の建設に着目した。

疏水を開削することにより琵琶湖と鴨川・伏見を経て宇治川を結ぶ舟運を開き、同時に、水車による水力発電、灌漑、防火用水などに利用し京都の産業を振興しようとした。北垣知事は、田辺朔郎の綿密な実測踏査に基づく理論的な卒業論文に惚れ込み、当時、東京工部大学校を卒業したばかりの朔郎を総責任者として抜擢し、衰退した「京の都再生」、明治の大プロジェクトを成功に導いた。世紀の大事業は、北垣知事と田辺朔郎との運命的な出会い、若い才能と情熱を信じることから始まったといえる。見取図に示す琵琶湖疏水記念館（無料）を見学されれば、その先人の偉業が手に取るように紹介されている。記念館地階出口を出ると、右側にインクラインの舟溜りが、現在釣り場となって望める。左側に足を進めインクラインの石畳を登れば、自然豊かな高台に図面を手にした若き技術者、田辺朔郎像が偉業を語りかけているように見える。

その地を後にし、南禅寺方向に歩けば、国の史跡に指定された異国風アーチレンガ造りの水路閣が見学できる。疏水施設は、人々の日常生活に身近な関わりがあり、土木事業の大切さを実感して頂けるものと信じている。

明治の土木、大プロジェクトを京都地域から発信、ご紹介いたします。子どもたちに夢と希望をあたえるためにも是非一度見学を。

琵琶湖疏水トンネル

インクラインの船と台車

田辺朔郎像

極楽山浄土寺、現世浄土へのいざない

（株）カイヤマグチ
代表取締役　山口　政勝

当社は兵庫県姫路市にある。兵庫県には世界文化遺産、姫路城があるが、他にも素晴らしい文化財が兵庫県にはある。

極楽山浄土寺である。小野市浄谷町（きよたにちょう）にある。創建は建久八年（1197年）およそ800年前である。建立したのは、平重衡（たいらのしげひら）によって焼失した（1180年）東大寺の勧進職（かんじんしき）として、その再興にあたった俊乗房重源（しゅんじょうぼうちょうげん）である。

重源には東大寺領7箇所が与えられた。別所という。播磨国賀茂郡大部庄（おおべのしょう）もその一つで、その中心が浄土寺である。寺領は四万六千石に及んだという。大名である。

重源は三度も宋に渡り技術に明るい。重源は大仏殿の大空間を支えるため宋の様式を採用する。大仏様（だいぶつよう）（天竺様（てんじくよう）ともいう）という。その実証実験がこの浄土寺である。

浄土寺は、加古川の東、段丘上に位置し西に開ける。境内は西に浄土堂、東に薬師堂、北に八幡神社を配し、本堂は薬師堂だが中心は浄土堂である。浄土堂は平面18m四方の正方形である。大きな建物ではない。

内部には柱が四本立ち、中央の円壇上の阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩の三立像の周囲を廻る回廊形式である。重源も念仏を唱えながら巡ったという。

この三体の仏像は、鎌倉仏師を代表する快慶の作である。柔和な顔だちの中にも強さを感じさせるお姿である。

大きい阿弥陀如来は、身の丈5m30cm、光背は屋根を突き刺さんばかりで堂一杯に立つ。建物ができてから仏を運び入れることは到底できない。仏様を彫刻しながら並行して堂を建てたといわれている。

さて浄土堂、外観的特徴もさることながら内部である。室内は天井がなく屋根裏むき出しの化粧屋根裏となり、柱はパルテノン神殿のように中太のエンタシスである。柱からは虹梁（こうりょう）が四方に架けられ空を跳んでいる。外観より遙かに大きく躍動的に感じる。柱も梁も朱に塗られている。が天井板と虹梁の下部の一部が白く塗られて鮮やかな色彩の対比を見せる。三体の仏像は金色に輝く。

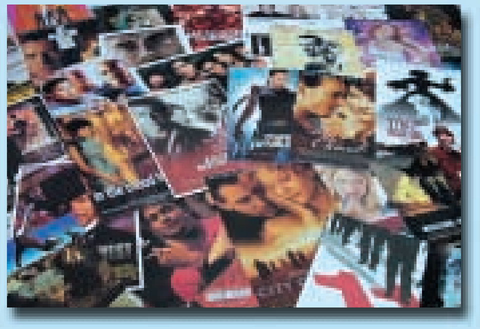
私の訪れた日、午後4時頃に西の蔀戸（しとみ）から陽が差し込み床を照らしはじめた。30分もすると柱間の半分程まで西日が床に当たる。薄暗かった内部が明るさを増す。虹梁は下面が明るい。柱や虹梁に当たった光が堂内を朱に染めていく。御仏の法衣のヒダも赤く映える。両脇の菩薩像にそれほど変化はないように見えたが、阿弥陀様は、お顔にも薄く紅がさし、生命が吹き込まれ、今まさに西方浄土から衆生を救いに舞い降りられたかと思えてくる。

重源はこの世に極楽浄土を出現させ、東大寺の再興を果たした。

しかし彼が精魂込めた天竺様は、後あまり用いられることがなく東大寺も永禄十年（1567年）再び焼失する。天竺様で現存するのは他に東大寺南大門のみで、本格的な建物としてはこの浄土堂だけである。

（参考資料：「NHK国宝への旅6」、浄土寺パンフレット）

映画にはまってます！



中央復建コンサルタンツ株式会社
計画環境本部　交通施設計画室　中尾 容子

5年ぐらい前に本屋さんで何気に見つけた雑誌に“シティオブエンジェル”の試写会の応募が載っていたので応募してみました。数日後、雑誌社から2つの試写会のハガキが送られて驚きました。なんと上映日の誤植のため、もともとの映画とその上映日に行われる“リーサルウエポン4”の2つでした。『なんてラッキー！』と思ったのと、当選のうれしさから、試写会の応募にはまりました。一緒に見に行った友人も懸賞にはまり、年間50～60本ぐらいみるようになりました。（全部試写会ではないですから･･･）そんなこんなでいつの間にか『映画好き』と言われるようになりました。

映画好きと知られていることでいいことがいっぱいあります。試写会やチケットを頂いたり、いろいろな人とのお話のきっかけになったりします。今まであまりお話をしたことのない人の映画の感想を聞くと、その人の感性や考え方とか新しい発見があってとっても楽しいです。初対面の人との共通の話題にもなりますし、年代の違う人ともお話できます。

最近は年間30～40本ぐらいに減りましたが、たくさん見ていると、どういう話だったとか、何をみたか、なんてことをどんどん忘れていきます。そこでパンフレットの収集をしようかと思いましたが、パンフレットって大きさがまちまちで、収納にも困るのでポストカードを集めています。

ポストカードはだいたいメインのポスターのものがデザインされているのが販売されています。話題になった映画のものはいろいろあるのですが、ちょっとマイナーな映画のものはなかなか売っていません。マイナー映画のものや違ったデザインのものを見つけたときはうれしくなってすぐに買ってしまいます。香港映画のものは神戸に行ったとき、中華街に行って購入して集めています。

映画鑑賞の趣味からたくさんの人とお話したり、ポストカードの収集とか楽しさが広がりました。旅行をしたとき、映画に出ていた場所に行くと、あの俳優さんたちもこの地を訪れたのだと思うと、また違った感動や親しみ感も出てきます。逆に知っている場所が出ている映画だと、あの場所から撮影したのだなあとか違った楽しみ方があります。趣味っていろいろな楽しみを引き出すものだと思います。忙しい建コン業界ではありますが、みなさんもいろいろな趣味を持って気分転換、ストレス解消を図ってみて下さいね。

まずは大きなスクリーンでCGのリアルで迫力ある映画はいかがでしょうか？

ちょっといい話

－毎朝 86,400円の振り込み？－

株式会社　オリエンタルコンサルタンツ
地域環境部　伊藤 昌明

最近知ったちょっと良いお話です。心が洗われるお話です。みんなに伝えてほしいお話です。

さて問題です。

次のような銀行があると考えてみてください。その銀行は、毎朝あなたの口座へ86,400円を振り込んでくれます。その口座の残金は、毎晩ゼロになります。つまり、86,400円の中で、あなたがその日に使い切らなかった金額はすべて消されてしまいます。

あなただったらどうしますか？もちろん、毎日86,400円全額を引き出しますよね。

僕たちは、ひとり一人が同じような銀行を持っています。

それは、時間です。

毎日、あなたのために新しい口座が開かれます。

毎朝、あなたには86,400秒が与えられます。

毎晩、その日の残金は燃やされてしまいます。

それは、明日に繰り越すことはできません。

もし、あなたがその日の預金をすべて使い切らなければ、あなたはそれを失ったことになります。過去にさかのぼることはできません。あなたは、今日与えられた預金のなかから今を生きなければなりません。

だから、与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そして、そこから健康、幸せ、成功のために最大限の努力をしましょう。時間という時計の針は、たえず進んでいます。

そう、今、これを読んでいる一瞬一瞬も・・・。

1年の価値を理解するには、
落第した学生に聞いてみるといいでしょう。

1ヶ月の価値を理解するには、
出産を控えた妊婦に聞いてみるといいでしょう。

1週間の価値を理解するには、
週刊誌の編集者に聞いてみるといいでしょう。

1時間の価値を理解するには、
待ち合わせをしている恋人たちに
聞いてみるといいでしょう。

1分の価値を理解するには、
電車をちょうど乗り過ごした人に聞いてみるといいでしょう。

1秒の価値を理解するには、
たった今、事故を避けることができた人に
聞いてみるといいでしょう。

10分の1秒の価値を理解するには、
オリンピックで銀メダルに終わってしまった人に
聞いてみるといいでしょう。

だから、あなたの持っている今、一瞬一瞬を大切にしましょう。そして、今という時間は、誰も待ってはくれないことを覚えておきましょう。

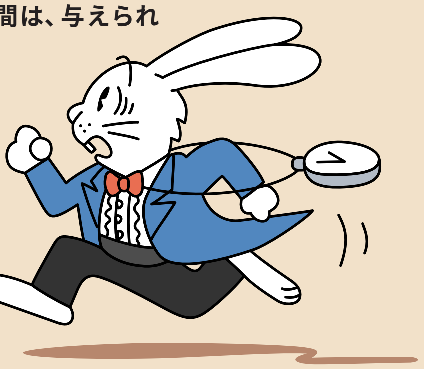
昨日という時間は、もう過ぎ去ってしまいました。

明日という時間は、まだわからないのです。

今日という時間は、与えられるものです。

だから・・・

だから、英語では『今』という言葉を、プレゼント（=present）と言います。



業務研究発表会

第35回（平成14年度）業務研究発表会のお知らせ

第35回（平成14年度）業務研究発表会を（社）土木学会関西支部、（社）地盤工学会関西支部の後援により、次のとおり開催することになりました。一般の方も参加は自由ですので、多数ご参加くださいますようご案内いたします。　※当発表会は土木学会認定CPDプログラムです。

1．開催日時と会場

日 時：平成14年9月3日（火）9時～17時
会 場：大阪科学技術センター
（大阪市西区靭本町1-8-4　TEL.06-6443-5324）

2．プログラム

開会挨拶：近畿支部長　朴（すなお）　慶智　9:15～ 9:25　401号室
第1部門（発表講演）：構造物1部会　9:30～12:00　401号室
構造物2部会　9:30～11:40　403号室
河川・環境部会　9:30～12:00　405号室
交通・計画部会　9:30～12:00　小ホール
調査・IT部会　9:30～12:00　中ホール
特別講演：「トンネルの建設技術と保守技術」
京都大学大学院工学研究科助教授　朝倉俊弘
401号室　13:00～14:20
第2部門（パネル）：14:30～16:30　403号室
第3部門（ビデオ）：14:30～16:30　401号室
閉会挨拶：近畿支部技術部会長　福田 収　16:35～16:45　401号室

3．他会場（研究委員会発表会）

① 斜面安定対策工研究委員会発表会
平成14年10月8日（火）13:00～17:00　建設交流会館 702号室
② 橋梁維持管理研究委員会発表会
平成14年9月6日（金）13:00～17:00　建設交流会館 グリーンホール

参加申込み

参加料：無料（定員250名）
申込み方法："はがき"に氏名・勤務先・連絡先（住所・所属部課名・電話など）をご記入の上、平成14年8月10日までに下記宛お申込み下さい。参加章を送ります。

（社）建設コンサルタンツ協会
近畿支部　業研実行委員会

〒540-0005
大阪市中央区上町A番12号
建設保証ビル
TEL. 06-6764-5891

編 集 後 記

中辺路町の高原での取材は、実に良い体験となりました。果無山脈から連なる山々に囲まれた町で、そこに生まれ育った方も、異国から辿り着いた方も、みなさんが町の豊かな環境を堪能しながら生活をされている姿を見て、自分もそうありたいと思いました。（I.K）

この第3号の発行をもって現在の編集委員会は解散し、第4号からは新たなメンバーで作り上げていくことになります。多くのご支援ありがとうございました。今後とも「クリエイトきんき」をよろしくお願いします。

・・・それから、「クリエイトきんき」の編集に興味のある方、一緒に作ってみようという方は編集委員会までご一報を。

＝「クリエイトきんき」編集委員一同＝

(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部　会員名簿

(株)アーバン・エース
〒530-0012　大阪市北区芝田1-4-8　北阪急ビル
☎06-6359-2752

(株)アール・アンド・ディーエンジニアズ 関西支社
〒550-0012 大阪市西区立売堀4-6-9 サンロックビルディング　☎06-6578-2951

(株)アイ・エヌ・エー 関西支店
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-7-18 アストロ新大阪203　☎06-6885-6665

(株)アキツ地建コンサルタンツ
〒651-0061　兵庫県神戸市中央区上筒井通7-3-10　☎078-261-9225

(株)アサダ
〒537-0001　大阪市東成区深江北1-10-25
☎06-6977-0055

朝日航洋(株) 西日本空情支社
〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-35-31 TEK第三ビル　☎06-6338-3321

アサヒコンサルタント(株)兵庫支社
〒670-0955　兵庫県姫路市安田4-25
☎0792-26-2014

朝日調査設計(株)
〒530-0044　大阪市北区東天満2-6-2　南森町中央ビル　☎06-6357-5270

アジア航測(株)大阪支店
〒564-0063　大阪府吹田市江坂町2-1-11 江坂山甚ビル　☎06-6338-3751

(株)アスコ
〒550-0006　大阪市西区江之子島1-10-1 ASCOビル　☎06-6444-1121

(株)石居設計
〒522-0055　滋賀県彦根市野瀬町37-1
☎0749-26-5688

イズミ建設コンサルタント(株)大阪支社
〒550-0001　大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル2F
☎06-6444-2331

(株)ウエスコ 大阪支社
〒540-0021　大阪市中央区大手通2-2-13
☎06-6943-1486

(株)エース
〒600-8133　京都府京都市下京区七条通木屋町上る大宮町205　☎075-351-6878

(株)エイトコンサルタント 大阪支社
〒532-0034　大阪市淀川区野中北1-12-39
☎06-6397-3888

(株)エミック 近畿事務所
〒533-0031　大阪市東淀川区西淡路1-1-32 新大阪アーズビル　☎06-6815-0875

(株)オー・テック
〒570-0011　大阪府守口市金田町4-7-22
☎06-6900-3050

応用地質(株)関西支社
〒532-0021　大阪市淀川区田川北2-4-66 大阪深田ビル　☎06-6885-6357

(株)オオバ 大阪支店
〒540-0035　大阪市中央区釣鐘町2-3-11
☎06-6943-5161

(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社
〒532-0003　大阪市淀川区宮原3-3-31 上村ニッセイビル　☎06-6350-4371

開発エンジニアリング(株) 大阪支店
〒541-0046　大阪市中央区平野町4-2-16
☎06-6201-5612

開発コンサルタント(株) 大阪支店
〒530-0044　大阪市北区東天満2-2-5 第二新興ビル　☎06-6352-2813

(株)カイヤマグチ
〒671-2216　兵庫県姫路市飾西60-2
☎0792-67-1212

(株)片平エンジニアリング 大阪支店
〒532-0003　大阪市淀川区宮原4-5-36 セントラル新大阪ビル　☎06-4807-1857

川崎地質(株)西日本支社
〒556-0015　大阪市浪速区敷津西2-1-12 松川ビル　☎06-6649-2215

(株)かんこう
〒540-0068　大阪市中央区大手前1-7-24
☎06-6910-3201

(株)キクチコンサルタント
〒603-8345　京都府京都市北区平野八丁柳町66-8　☎075-462-5544

基礎地盤コンサルタンツ(株)関西支社
〒550-0011　大阪市西区阿波座1-11-14
☎06-6536-1591

キタイ設計(株)
〒521-1398　滋賀県蒲生郡安土町大字下豊浦4723　☎0748-46-2336

(株)橋梁コンサルタント 大阪支社
〒541-0059　大阪市中央区博労町3-3-10 中西ビル　☎06-6245-7277

(株)協和コンサルタンツ 関西事業部
〒530-0047　大阪市北区西天満1-7-20
JIN-ORIXビル　☎06-6367-1635

協和設計(株)
〒567-0877　大阪府茨木市丑寅2-1-34
☎0726-27-9351

近畿技術コンサルタンツ(株)
〒540-0031　大阪市中央区北浜東2-16 日刊工業新聞大阪支社ビル　☎06-6946-5771

近畿設計測量(株)
〒520-0821　滋賀県大津市湖城が丘32-3
☎077-522-1884

(株)キンキ地質センター
〒612-8236　京都府京都市伏見区横大路下三栖里ノ内33-3　☎075-611-5281

(株)近畿日本コンサルタント
〒542-0012　大阪市中央区谷町9-1-22 NK谷町ビル　☎06-6763-7131

(株)近代設計 大阪支社
〒541-0048　大阪市中央区瓦町3-1-4トーア紡ビル　☎06-6228-3222

(株)ケーエーケー技術研究所
〒540-0011　大阪市中央区農人橋1-4-33 アメリカーナビル　☎06-6942-6690

(株)ケー・エスコンサルタント
〒634-0063　奈良県橿原市久米町540-3
☎0744-27-3097

(株)ケーシック
〒573-0027　大阪府枚方市大垣内町2-17-3
☎072-846-4641

ケイエムエンジニアリング(株) 大阪支店
〒534-0025　大阪市都島区片町2-10-5 京橋KTビル　☎06-6242-8074

京福コンサルタント(株)
〒917-0026　福井県小浜市多田第11号2-1
☎0770-56-2345

(株)建設企画コンサルタント
〒550-0004　大阪市西区靱本町3-5-25 CPCビル
☎06-6441-4613

(株)建設技術研究所 大阪支社
〒540-0008　大阪市中央区大手前1-2-15 住友生命大手前ビル　☎06-6944-7777

(株)構造技研 関西支社
〒532-0011　大阪市淀川区西中島4-9-28
☎06-6303-1280

構造計画コンサルタント(株)大阪支社
〒532-0003　大阪市淀川区宮原5-1-3 新大阪生島ビル　☎06-6394-2711

晃和調査設計(株)
〒531-0071　大阪市北区中津3-10-4-301
☎06-6374-0053

国際航業(株)関西支社
〒660-0805　兵庫県尼崎市西長洲町1-1-15
☎06-6487-1111

(株)国土開発センター 大阪支店
〒545-0021　大阪市阿倍野区阪南町1-27-1 アスタルテビル　☎06-6622-1451

国土環境(株)大阪支店
〒550-0002　大阪市西区江戸堀3-2-23
☎06-6448-2551

国土工営コンサルタンツ(株)
〒541-0057　大阪市中央区北久宝寺町4-3-5
本町サミットビル　☎06-6243-3242

国土防災技術(株)大阪支店
〒577-0013　東大阪市長田中4-2-5
☎06-6747-4551

サンキコンサルタンツ(株)大阪支店
〒533-0033　大阪市東淀川区東中島1-21-20
☎06-6379-2022

サンコーコンサルタント(株) 大阪支店
〒532-0011　大阪市淀川区西中島5-12-8 エス・ティ・エスビル　☎06-6305-4531

(株)サンヨー
〒577-0801　東大阪市小阪2-9-11
☎06-6787-3271

(株)三洋テクノマリン 大阪支社
〒577-0005　大阪府東大阪市七軒家3-6
☎06-6746-3401

三和建設コンサルタンツ(株)大阪支店
〒530-0043　大阪市北区天満1-5-2　トリシマオフィスワンビル　☎06-6358-1691

(株)サンワコン
〒918-8525　福井県福井市花堂北1-7-25
☎0776-36-2790

(株)シードコンサルタント
〒630-8114　奈良県奈良市芝辻町2-10-6
☎0742-33-2755

ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
〒532-0011　大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル
☎06-6303-6971

(株)ジェクト
〒550-0014　大阪市西区北堀江2-3-3 久竹ビル
☎06-6532-8221

ジビル調査設計(株)
〒910-0001　福井県福井市大願寺2-5-18
☎0776-23-7155

(株)修成建設コンサルタント
〒553-0002　大阪市福島区鷺洲2-5-15
☎06-6452-1081

新構造技術(株)大阪支店
〒541-0054　大阪市中央区南本町4-5-7 東亜ビル
☎06-6282-1281

(株)新洲
〒520-3015　滋賀県栗太市安養寺1-1-24
☎077-552-2094

新日本技研(株)大阪支店
〒541-0046　大阪市中央区平野町2-1-14
☎06-4706-7001

住鉱コンサルタント(株)大阪支店
〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-28-12
☎06-6384-1123

(株)スリーエスコンサルタンツ
〒569-0071　大阪府高槻市城北町2-3-8
☎0726-73-5885

正和設計(株)
〒520-0806　滋賀県大津市打出浜3-7
☎077-522-3124

(株)センダイ工部コンサルタント
〒649-6333　和歌山県和歌山市永穂244-4
☎073-462-0678

セントラルコンサルタント(株) 大阪支社
〒530-6012　大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー
☎06-6882-2130

全日本コンサルタント(株)
〒556-0017　大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル　☎06-6646-0030

(株)総合エンジニアリング 大阪支店
〒556-0016　大阪市浪速区元町3-1-1 鎌田ビル
☎06-6647-8270

(株)綜合技術コンサルタント 大阪支社
〒533-0033　大阪市東淀川区東中島3-5-9
☎06-6325-2921

第一建設設計(株)
〒531-0061　大阪市北区長柄西1-3-19 第一天六ビル　☎06-6353-3051

第一復建(株)大阪本部
〒553-0003　大阪市福島区福島7-15-26 大阪YMビル　☎06-6453-4321

(株)大建技術コンサルタンツ
〒532-0004　大阪市淀川区西宮原1-8-24 第3ドイビル　☎06-6396-3011

大建測量設計(株)
〒530-0024　大阪市北区山崎町1-6
☎06-6314-2800

大成エンジニアリング㈱ 大阪事務所
〒553-0033　大阪市東淀川区東中島1-17-5
☎03-5285-3153

大成基礎設計(株)大阪支社
〒553-0001　大阪市福島区海老江5-2-2 大拓ビル
☎06-6456-1531

大日コンサルタント(株) 大阪支社
〒532-0012　大阪市淀川区木川東2-4-10 シティビル三和704　☎06-6838-1355

大日本コンサルタント(株) 大阪支社
〒550-0014　大阪市西区北堀江1-22-19 シルバービル　☎06-6541-5601

(株)ダイヤコンサルタント 関西支社
〒564-0045　大阪府吹田市金田町28-21
☎06-6339-9141

大和設計(株)
〒564-0052　大阪府吹田市広芝町6-13
☎06-6385-6101

(株)武仲
〒651-0085　兵庫県神戸市中央区八幡通4-1-11
☎078-231-2791

玉野総合コンサルタント(株) 大阪支店
〒531-0076　大阪市北区大淀中5-2-1 玉野大阪ビル　☎06-6452-9311

中央開発(株)大阪事業部
〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-34-12
☎06-6386-3691

中央コンサルタンツ(株)大阪支店
〒541-0057　大阪市中央区北久宝寺1-4-15　SC堺筋本町ビル　☎06-6268-2541

中央復建コンサルタンツ(株)
〒533-0033　大阪市東淀川区東中島4-11-10
☎06-6160-1121

(株)長大 大阪支社
〒550-0013　大阪市西区新町2-20-6 新町グレースビル　☎06-6541-5793

(株)千代田コンサルタント 大阪支店
〒550-0002　大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル　☎06-6441-0665

(株)帝国コンサルタント
〒915-0082　福井県武生市国高1-6-1
☎0778-24-0001

(株)トーニチコンサルタント 西日本支社
〒530-0028　大阪市北区万才町3-20 北大阪ビル
☎06-6316-1491

(株)東永設計
〒599-8104　大阪府堺市引野町3-58
☎072-285-7701

東京エンジニアリング(株)大阪支社
〒541-0056　大阪市中央区久太郎町3-4-30 船場グランドビル　☎06-6245-2610

(株)東京建設コンサルタント 関西支店
〒532-0003　大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪第2森ビル　☎06-6399-2888

(株)東建ジオテック 大阪支店
〒593-8321　大阪府堺市宮下町12-19
☎0722-65-2651

(株)東光コンサルタンツ 大阪支店
〒541-0057　大阪市中央区北久宝寺2-5-9 飛栄大阪ビル　☎06-6282-6660

東洋技研コンサルタント(株)
〒532-0025　大阪市淀川区新北野1-14-11 第一生命ビル　☎06-6886-1081

(株)都市建設コンサルタント
〒551-0003　大阪市大正区千鳥1-14-13
☎06-6555-1661

内外エンジニアリング(株)
〒601-8213　京都府京都市南区久世中久世町1-141　☎075-933-5111

(株)中川設計事務所
〒532-0011　大阪市淀川区西中島5-9-6 新大阪サンアールビル　☎06-6302-7301

中日本建設コンサルタント(株)大阪支社
〒530-0047　大阪市北区西天満3-13-20 ASビル
☎06-6363-3441

(株)中山綜合コンサルタント
〒640-8441　和歌山県和歌山市栄谷241
☎073-455-6335

(株)浪速技研コンサルタント
〒567-0041　大阪府茨木市下穂積1-2-29
☎0726-23-3695

南海カツマ(株)関西支社
〒592-8335　大阪府堺市浜寺石津町東1-2-21
☎0722-41-8561

(株)ナンバ
〒663-8113　兵庫県西宮市甲子園口3-14-20
☎0798-65-8681

(株)ニコス
〒669-5341　兵庫県城崎郡日高町国分寺248-1
☎0796-42-2905

(株)日建技術コンサルタント
〒542-0012　大阪市中央区谷町6-4-3
☎06-6766-3900

(株)日建設計 大阪
〒541-8528　大阪市中央区高麗橋4-6-2
☎06-6229-6399

(株)日建設計シビル 大阪事務所
〒541-8528　大阪市中央区高麗橋4-6-2
☎06-6229-6399

(株)日産技術コンサルタント
〒540-0028　大阪市中央区常盤町2-3-14
☎06-6944-0669

(株)日水コン 大阪支所
〒532-0004　大阪市淀川区西宮原2-1-3 SÔRA新大阪21　☎06-6398-1658

(株)日測
〒526-0846　滋賀県長浜市川崎町119
☎0749-63-2096

日本技術開発(株)大阪支社
〒531-0072　大阪市北区豊崎5-6-10 商業ビル
☎06-6359-5341

(株)日本建設技術社 大阪事務所
〒533-0033　大阪市東淀川区東中島1-18-27 新大阪丸ビル新館　☎06-6321-5567

日本建設コンサルタント(株)大阪支社
〒553-0003　大阪市福島区福島7-20-1 KM西梅田ビル　☎06-6453-3033

日本工営(株)大阪支店
〒550-0004　大阪市西区靱本町2-3-2 大鰹・住友生命なにわ筋本町ビル　☎06-6449-5800

日本構造技術(株) 大阪支社
〒550-0005　大阪市西区西本町1-8-14 西本町MICビル　☎06-6533-6021

(株)日本構造橋梁研究所 大阪支社
〒541-0051　大阪市中央区備後町1-5-2 KDC備後町ビル　☎06-6203-2552

(株)日本構造物設計事務所 大阪事務所
〒550-0005　大阪市西区西本町2-3-6 山岡ビル
☎06-6533-6621

日本交通技術(株) 大阪支店
〒530-0012　大阪市北区芝田2-3-20 第一梅田ビル　☎06-6371-3843

(株)日本港湾コンサルタント 関西支社
〒651-0084　兵庫県神戸市中央区磯辺通3-1-2
第三建大ビル　☎078-251-6234

日本シビックコンサルタント(株) 西日本事業部大阪支店
〒532-0011　大阪市淀川区西中島7-1-5 辰野新大阪ビル　☎06-6309-7500

日本振興(株)
〒590-0535　大阪府泉南市りんくう南浜3-2
☎0724-84-5200

日本テクノ(株)
〒530-0001　大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル25階　☎06-6346-4466

(株)日本パブリック 関西支社
〒564-0054　大阪府吹田市芳野町1-4
☎06-6368-2232

(株)ニュージェック
〒542-0082　大阪市中央区島之内1-20-19 ハクスイ・アルテビル　☎06-6245-4901

パシフィックコンサルタンツ(株)大阪本社
〒532-0011　大阪市淀川区西中島4-3-24 新大阪木村第3ビル　☎06-6390-8450

(株)パスコ 関西本部
〒542-0086　大阪市中央区西心斎橋2-2-3 第3松豊ビル　☎06-6214-6700

(株)八州 関西支社
〒532-0011　大阪市淀川区西中島3-12-19 ルート西中島ビル　☎06-6305-3245

(株)阪神コンサルタンツ
〒550-0005　大阪市西区西本町2-5-24 昭和ビル
☎06-6543-0201

阪神測建(株)
〒650-0011　兵庫県神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手　☎078-332-5895

(株)ピーエムコンサルタント
〒542-0081　大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル　☎06-6263-5061

(株)吹上技研コンサルタント
〒610-1146　京都府京都市西京区大原野西境谷町2-14-2　☎075-332-6111

扶桑設計コンサルタント(株)
〒550-0014　大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル　☎06-6533-6688

(株)復建エンジニヤリング 大阪支社
〒532-0011　大阪市淀川区西中島4-10-1 大阪OSビル　☎06-6838-3271

復建調査設計(株) 大阪支社
〒532-0004　大阪市淀川区西宮原1-4-13 FGEX新大阪ビル　☎06-6392-7200

(株)プレック研究所 大阪事務所
〒550-0015　大阪市西区南堀江1-18-4 住友生命湊町MTビル　☎06-6541-6161

牧草コンサルタンツ(株)
〒612-8219　京都府京都市伏見区表町590-1
☎075-611-5211

(株)間瀬コンサルタント 大阪支店
〒564-0063　大阪府吹田市江坂町1-12-10 丸信江坂ビル　☎06-6385-0891

(株)水建設コンサルタント
〒540-0028　大阪市中央区常盤町2-3-16 高木産業ビル　☎06-6946-6131

三井共同建設コンサルタント(株) 関西支社
〒552-0007　大阪市港区弁天1-2-1-1000 オーク1番街　☎06-6599-6011

(株)メイケン
〒658-0021　兵庫県神戸市東灘区深江本町3-5-25　☎078-451-4180

明治コンサルタント(株) 大阪支店
〒563-0048　大阪府池田市呉服町10-14
☎0727-51-1659

八千代エンジニヤリング(株) 大阪支店
〒540-0001　大阪市中央区城見1-4-70 住友生命OBPプラザビル　☎06-6945-9200

(株)ヨコタテック
〒565-0822　大阪府吹田市山田市場5-2
☎06-6877-2666

(株)横浜コンサルティングセンター 大阪支店
〒532-0011　大阪市淀川区西中島3-14-9 三好第三ビル　☎06-6885-0964

(株)ワールド
〒660-0881　兵庫県尼崎市昭和通1-11-12
☎06-6489-0261

和歌山航測(株)
〒640-8481　和歌山県和歌山市直川591-2
☎073-462-1231

和建技術(株)
〒641-0012　和歌山県和歌山市紀三井寺532-2
☎073-447-3913

ワコウコンサルタント(株)
〒649-6326　和歌山県和歌山市和佐中151-4
☎073-477-1115

2002年8月現在